

**製品名: カルモジュリンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83721**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	17 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Calmodulin
別名	CALM; CALM1; CALM2; CALM3; CAM; CAM1; CAM2; CAM3; CAMB; CAMC;;Calmodulin 1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P62158
免疫原	ヒトカルモジュリン 1 由来の合成ペプチド

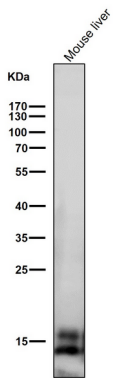
**背景**

カルモジュリンは、カルシウム結合を介して多数の酵素、イオンチャネル、アクアポリン、その他のタンパク質の制御を媒介することにより、カルシウムシグナル伝達経路の一部として機能します。カルモジュリンの活性化にはカルシウム結合が必要です。

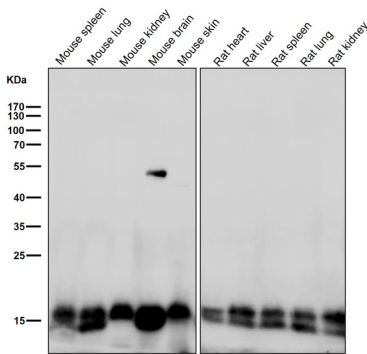
## 研究分野

-

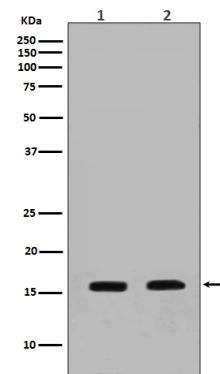
## 画像データ



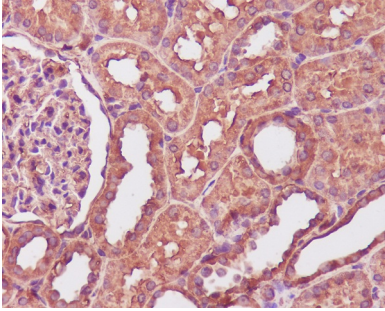
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



(1) NIH-3T3 細胞溶解物、(2) MCF-7 細胞溶解物におけるカルモジュリン発現のウエスタンブロット解析。



カルモジュリン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。